

どんど焼き

▶自分で作ったまゆ玉を火にかざす子どもたち

小正月の伝統行事「どんど焼き」が、1月9日～11日および16・17日にかけて、市内各区で行われました。

今年1年間の豊作や来福を祈願する「どんど焼き」は火で餅などを焼いて食べると病気になる、書き初めを燃やすと字が上達するなどと言い伝えられています。

会場では、門松、しめ縄、だるまなどを飾ったやぐらが夜空に向かって大きな火柱をたて、子どもたちは嬉しそうに炎の周りを囲んでいました。（写真：東江部区）



十三崖チョウゲンボウ応援団勉強会

▶休耕田の湿地化について解説する高野瀬さん

1月30日、たかやしろワイナリーにおいて、十三崖チョウゲンボウ応援団による勉強会が開催されました。当日は、新潟大学超域研究機構助教の高野瀬洋一郎博士を講師に迎え「遊休農地の自然再生・休耕田を利用した水辺環境の創出～湿生植物群落の回復に向けて～」をテーマに講演が行われました。参加した皆さんは、十三崖のチョウゲンボウ繁殖地や周辺の自然をいかに保全し、いかに再生させるかについて学習を深めていました。



共にいきいき市民のつどい

▶「夢と希望を捨てないで」と力説する市岡さん

1月23日、長野県中野勤労者福祉センターにおいて、共にいきいき市民のつどいを開催しました。当日は、約380人が参加する中、吉本新喜劇で活躍された故・岡八朗さんの長女でゴスペルシンガーの市岡裕子さんの「人生あきらめたらあかん！足りないものに不平不満を言わず、有るものに感謝」と題した講演会を行いました。

講演では、家族の病気や死など、数々の苦難を乗り越えてこられた体験に基づくお話をいただきました。



表紙の説明

中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会

1月30日、第46回中山晋平記念音楽賞優秀賞入選曲発表会を市民会館ホールにおいて開催しました。

当日は、長野県内および姉妹都市から応募があった139曲の中から選ばれた優秀賞入選曲を、市内小学生をはじめ音楽団体の皆さんが発表したほか、優秀賞・市内小学校佳作受賞者の表彰を行いました。

また、記念公演ではソプラノ歌手・小林沙羅さんによる演奏会も開催しました。（写真：小林沙羅さん）



このコーナーでは、皆さんからの投稿を受け付けていますので、地域の身近な話題をお寄せください。
なお、掲載された方には、粗品を進呈いたしますので、どしどしお寄せください。

あて先 〒383-8614
中野市三好町一丁目3番19号
市役所庶務課秘書広報係
Eメール：koho@city.nakano.nagano.jp

NAKANO スナッツ

土人形絵付け体験専用棟オープン

◀充実した観光体験施設が完成しました

2月1日、日本土人形資料館絵付け体験室棟の開場式を行いました。この施設は、同館の絵付け作業室が狭く小さかったことから、利用者の皆さんに快適で充実した絵付け体験をしていただくために増築したもので、昨年8月から工事を始め、1月25日(月)にしゅん工しました。

長野県産の木材を使用して建てたこの体験室棟では、約40人が同時に絵付け体験できる作業室のほか、展示スペース、多目的トイレを整備しました。



キャラバン・メイト養成研修

◀認知症の症状や予防法などを説明する牧下先生

1月19日・20日の2日間、中野保健センターにおいてキャラバン・メイト養成講座を開講しました。地域、職場、学校などで認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法などを伝える講師役「キャラバン・メイト」を養成することを目的としたもので、約40人が受講しました。

初日は北信総合病院副院長の牧下英夫医師による講演、2日目はサポーター養成講座の運営方法について学びました。今後は、地域などでの活躍が期待されます。



信濃から夢に向かって

◀子どもから質問を受ける選手の皆さん

信濃グランセローズの選手が夢を語る講演会「信濃から夢に向かって」を1月24日、豊田公民館において開催しました。会場では小学生ら約60人が参加する中、大村有三外野手、松本匡礼内野手、大竹秀義投手からそれぞれの体験を基に、夢を抱くことの大切さや努力することの大切さなど、野球に対する熱い想いを語っていただきました。後半は、選手の皆さんによるサイン会が行われ参加者の皆さんは選手との触れ合いを楽しんでいました。

